

北九州市民の会ニュース

「生保110番」に9件の相談

年金生活者にもコロナと増税の影響じわり

奇数月にあたる7月17日(金)に2ヶ月に1度の「生活保護110番」を実施しました。この日もチラシを見ての電話相談を受けました。今回は1件、直ぐにでも生活保護申請が必要な方がいましたが、その他は「今は年金と貯蓄で何とか生活が出来ているが最近、出費もかさみ貯蓄を取り崩している。この先が不安」「年金暮らしで元気が、もし病気になって入院などしても今の年金額ではとても払えない」など、これからの生活を心配する相談が多かったのが特徴です。この間、賃金労働者からは「コロナの影響で仕事が減った。雇止めや解雇にあった」など収入減や収入が絶たれ、生活が成り立たないと言った緊急性の相談が多数寄せられていましたが、今回のように収入は変わらない年金受給者でもコロナの影響でマスク購入など感染予防の出費と消費税増税の影響が、出て来ているのではと感じました。コロナ禍が長く続けば更に生活困窮者が増えてくるのは必死です。「二兎を追うものは一兎をも得ず」・・・社会経済の活性化も重要な課題ですが、まずはコロナを1日でも早く収束させ、国民の健康とくらしを守るための感染拡大防止施策が今一番求められていることではないでしょうか？



市民の台所「旦過市場前」で

「生保&年金」2つの引き下げ違憲訴訟への支援を訴え

7月18日(土)に小倉北区にある旦過市場前で「生活保護基準引き下げ違憲訴訟、年金引き下げ違憲訴訟を支援する会(いかんよ貧困・福岡)・北九州」で宣伝行動をおこないました。当日は生健会、年金者組合、北九州市社保協から総勢16名が参加。先月に引き続き、署名は行わずビラ配布とスタンディング宣伝としました。高齢者の原告も多数参加しており、熱中症も心配しながらの宣伝行動となりました。この場所で実施するのは初めてでしたが、緊急事態宣言解除後より人も増え市場も賑わいが戻りつつある中、ビラもよく受け取ってくれるなど目立った宣伝が出来たのではと思います。次回も新しい場所での宣伝行動を計画



したいと思っています。

平和ネット19日定例行動

7月19日(日)14時から、小倉北区東映会館前と小倉駅前広場の2か所で平和をあきらめないネットの定例宣伝を取り組むことを実行委員会で確認した。小倉駅前広場は北九州共闘を中心に、東映会館前は憲法共同センターと北九州地区労連、新日本婦人を中心に取り組むことが確認された。私は東映会館前行動に参加するために、13時20分頃家を出発、途中雨がだんだん激しくなり、駐車場につく頃は土砂降り状況、永吉事務局長に連絡すると、小倉駅前広場は屋根があるのでそちらに合流して宣伝行動をやりきるとのこと。あっそく小倉駅前広場に行くと、すでに多くの参加者がスタンディング。署名行動を始めていた。



参加者は、60人を超えコロナ禍の中で最高の参加者となった。雨が激しいので署名は集まらないのではと思っていたら、多くの方が署名に応じてくれ、チラシの受け取りもよかった。(堀田和夫氏FBより)

小倉地区実行委が平和行進集会 歌声も響き、交流

原水爆禁止・平和行進小倉地区実行委員会は、7月20日、夕刻17時から、小倉北区勝山公園内の「長崎の鐘」記念碑前で、今年の平和行進集会を開きました。前日の19日に、大雨の中、戸畑地区からの行進を引き継ぎ、この日20日は、行橋からの行進を市境で引き継ぎ、そこから宣伝車で小倉南区～小倉北区まで宣伝しながら、会場の勝山公園会場に到着し、集会が始まりました。司会は実行委員会事務局・森さん(民商)。最初に、うたごえサークルによる合唱に続き、主催者挨拶、来賓の市議・県議や、



平和とくらしを守る北九州市民の会
〒803-0817 小倉北区田町13-21 田町ビル3F
Tel.093-592-5000 FAX093-571-4346
<http://siminnokai.sakura.ne.jp>
e-mail:koe@siminnokai.com

新婦人代表からの挨拶、実行委員会からの報告を行い、最後に、うたごえサークルと参加者による合唱で、集会を盛り上げていました。21日は、市役所前での出発式をし、門司区の境まで宣伝し、門司区実行委員会に引継ぎしました。(小倉支部・野瀬氏より)

コロナ禍のもと原水爆禁止世界大会の 取り組み始まる

北九州市では

今年も平和の夏がやってきました。これまでは、平和行進、反核平和マラソン、ニコニコペースの平和マラソン、6・9行動など多岐にわたり取り組まれています。今年の2020年原水爆禁止国民平和大行進(長崎一広島コース)は、6月28日、長崎市の爆心地公園から広島に向けてスタートしました。出発集会には約130人が参加。

今年は行進コースの短縮など、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、集会や徒歩による行進を中止。宣伝カーで各自治体を回り核兵器廃絶への



の思いをつないでいます。北九州市内の平和行進は、長崎広島コースと宮崎広島コース、199号線コース(若松)で取り組まれましたが、感染症対策のためこれまでとは違い、基本的に集会や徒歩による行進は行わずに、宣伝カーでマイク宣伝等を行い市内を行進しました。写真は、7月21日10時30分、北九州市役所前での広島に向けての出発集会の様です。総勢13人が集まり、野瀬事務局長の司会で出発式を行いました。来賓として、大石元市議員から挨拶を受けた後門司区への引き継ぎ地点手向山公園に向けて出発しました。少しさみしい出発集会でした。

宮崎コースの到着集会は、7月20日17時から勝山公園図書館横広場長崎の鐘前で行われ、森小倉地区事務局長の司会で始まり、北九州のうたごえの仲間による「青い空」の合唱の後岩下民商会長が実行委員会代表として挨拶、来賓として浦野新婦人の会小倉北支部長、藤沢市議員が挨拶、閉会の言葉は高瀬県議員が行いました。参加者は、62人でした。

(堀田和夫氏FBより)

にこにこペースの平和マラソン無事終了!

7月26日(日)に「第12回にこにこペースの平和マラソン」を開催しました。この平和マラソンは、2009年7月20日に第1回を企画しましたが、雨天により中止しました。それから走り続けて、今回で12回目となりました。第1回から前回までは、門司港駅をスタートして八幡東区の小伊藤山公園までを走っ

て来ましたが、何とか市内の網の目マラソンが出来ないものかと思案してきました。今回、新型コロナウイルス感染対策で、みんなと一緒に走るのがダメなら、それぞれが自由に走ってゴールしてはどうかということで、この企画が生まれました。朝9時に門司港駅と下曾根駅と八幡駅をスタートするコースと、10時半に折尾駅をスタートするコースと四コースを設けました。ゴールは八幡東区の小伊藤山公園です。小伊藤山公園には戦時中、防空壕がありました。1945年8月8日の八幡大空襲で、その防空壕に逃げ込んだ300人余りの市民が、防空壕の中で犠牲になりました。爆弾で焼き尽くされた市内の上空を炎と黒煙が覆いました。翌、8月9日に長崎に投下した原子爆弾を積んだ爆撃機が、小倉の上空に現れ、原子爆弾を落とそうとしましたが、厚い雲と黒煙に覆われて目標が定まらず、長崎に投下されました。戦後、八幡駅前には平和を願い復興を目指して整備されてきました。

ロータリーの真ん中には平和祈念像(女神の像と鳩)があります。そして、日本を代表する村野藤吾設計の八幡市民会館や美術館、八幡図書館等が創られて「文化の拠点」としてスタートしました。しかし昨年、市民の反対の声を無視して八幡図書館は壊されました。八幡市民会館は残りりましたが戦後復興の思いが失われようとしています。この日の八幡駅コースはスタート直後、激しい雨に見舞われましたが、その後、雨もやみ渡船場に到着、渡船で戸畑から若松に渡り洞海湾を一周して小伊藤山公園にゴールしました。このコースを走った神田孝さん・加藤由美子さん・近藤咲子さんの三人は20kmを2時間10分で見事完走しました。

四コースの他にも自宅から小伊藤山公園までオリジナルコースを走ったり、歩いたりしてゴールした方もいました。ゴール後、小伊藤山公園の慰霊塔の前で記念撮影をして解散しました。今回は、スタッフ6人、ランナー13人、ウォーキング1人の合計20人の参加者でした。(福岡ランニングセンター(FRC)ニュースから西村文男さん提供)

さよなら原発金曜行動

18:00~19:00

小倉駅デッキ

8月7日、8月14日

8月21日、8月28日